

## 特許理由通知書



特許出願の番号 特願 2004-046391  
 起案日 平成18年 6月12日  
 特許庁審査官 井上 哲男 3624 3K00  
 特許出願人代理人 伊東 忠彦 (外 2名) 様  
 適用条文 第29条第2項、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から3か月以内に意見書を提出して下さい。

## 理由

## &lt;理由A&gt;

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

## 記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1, 2, 4~9
- ・引用文献 1~4

引用文献1には、「被掃除面を自走するロボット掃除機本体と、該ロボット掃除機本体の下部に設けられる複数の輪を駆動する駆動部と、前記本体の前方に設けられ、走行方向の前方に配した障害物を検知する障害物検出センサと、記憶装置と、床の埃を吸い込めるよう前記ロボット掃除機本体に設けられる吸塵部と、指定された走行パターンによって前記ロボット掃除機が移動するよう前記駆動部を制御し、前記吸塵部を制御する制御部とを含むロボット掃除機」が記載されている。

電気掃除機の技術分野において、被清掃面に対向する部分に床を殺菌する殺菌部を設けることは、引用文献2~4にあるように周知の技術である。

また、殺菌部を底面のどの部分に設けるかという点に関しては当業者であれば適宜なし得る設計的な事項にすぎない。

・引用文献 1～5

塵埃にさらされる可能性のある場所に、殺菌のための紫外線ランプを設ける場合、紫外線ランプに異物が流入しないように窓を設ける点に関しては、引用文献5に開示されている。

<理由B>

この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第1号に規定する要件を満たしていない。

記

本願の請求項1に係る発明では、「記憶装置」は「障害物検出センサが検知した障害物の位置情報を格納する」とされている。一方、発明の詳細な説明においては、段落【0034】に「上方カメラ30が撮像した上方イメージを格納し」とされている。

してみれば、記憶装置の作用について、請求項の記載と発明の詳細な説明の記載は一致していない。よって、請求項1に係る発明は、発明の詳細な説明に記載したものでない。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開2002-325708号公報
2. 実願平4-92744号（実開平6-55544号）のCD-ROM
3. 実願昭63-141022号（実開平2-63772号）のマイクロフィルム
4. 特開2002-177175号公報
5. 特開平11-244206号公報

-----  
先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野

I P C A 4 7 L 9 / 0 0

A 4 7 L 9 / 0 2

A 4 7 L 9 / 3 0

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

-----  
この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせがございましたら下記までご連絡ください。

特許審査第二部 生活機器 審査官補 五十嵐康弘

T E L . 0 3 (3 5 8 1) 1 1 0 1 内線3332